



金丸 拳也  
選手  
\*  
日本  
太極拳友会

地に吸い付いたような足運び、鳥の羽ばたきを連想させる優雅な両腕の動き……。突然、無声の気合いや瞬間的な激しい動作が混じる。演じているのは金丸拳也さん、全日本武術太極拳選手権の総合太極拳（42式）で4連覇中だ。

太極拳は東洋哲学の重要な概念である太極思想を取り入れた拳法だ。総合太極拳は、1980年代後半、古来から伝わるさまざまな門派の形を、普及や競技会などに向けて整理したもの。「太極拳の魅力は、動作に込められている意味を理解し、表現することにあります」という金丸さん。「自分と向き合い、表面的な体の強さではなく、内なる力をどう高めていけるか」とも。

金丸さんは大分県出身。空手の先生であるお父さんの影響で3歳から空手を学んだが、高校生の時に現在の師匠と出会い、太極拳を始めた。「最初は練習についていけませんでしたが、それを5代6代の人々が笑いながらこなすんです。太極拳の奥の深さ、すごさを感じました」と金丸さん。現在は所属する日本太極拳友会（横浜市南区）の指導員として活躍している。「太極拳は年代に関係なく、それぞれの楽しみ方ができます。多くの人にその魅力を伝えたいですね」。特に大会前には、睡眠や食事の内容には気を使うという金丸さん。JAグループ神奈川から差し入れられた県産の巨峰に思わずにつこり。「果物は大好きです。ただ、水分を取り過ぎないようにたくさん食べられないのがつらいんです」とか。

そんな金丸さんについて、取材後にうれしいニュースが。第74回国民体育大会（茨城国体）で公開競技となった武術太極拳の26式（※）に神奈川代表として出場、見事第2位に輝いた。



※42式、26式・演じる動作の数を指す。42式は42の、26式は26の動作で成り立っている

JAグループ神奈川は、  
神奈川のアスリートを応援しています。

企画・制作：神奈川新聞社クロスメディア営業局